

教科	職業
----	----

目 標	<p>職業に係る見方・考え方を働かせ、職業など卒業後の進路に関する実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて工夫する資質・能力を育成することをめざす。</p>
	<p>(1) 職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。</p> <p>(3) よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。</p>

将来の生活に向けて授業で付けたい力

<ul style="list-style-type: none"> 働くことの意義の理解や心構えなど、望ましい勤労観 社会人としての基礎的な知識や態度 適切な進路選択をするための基礎的な知識 雇用や就労に関わる実践的な知識
--

関連する行事等

<p>1年: 校内就業体験(6月)、職場見学(7月)、トライアル就業体験(9月、1月)、ビジネスマナー講座(12月)</p> <p>2年: 就業体験(6月、11月)、ビジネスマナー講座(6月)、仕事見学会(7~8月)</p> <p>3年: 職場見学旅行(9月)、就業体験(6月、11月、1月)、求職登録(夏季休業中)</p>
--

使用教科書

<p>全学年: 新・見て分かるビジネスマナー集(ジアース)</p>

学習内容 <職業科 1学年>

	単元名 (時数)	評価の観点
前期	4・5月 いろいろな職業 ・職業調べ ・身近な人の職業 (4)	(知)職業調べを通して、様々な業種の様々な業務について理解する。 (思)職業調べを通して、様々な仕事の中から自分の適性や興味から希望する職種を考える。 (主)職業調べを通して、仕事のやりがいに気付く。
	仕事に必要な力 ・作業班の違い ・学校と会社の違い (2)	(知)学校の作業学習と実際の会社等で働くことの違いを理解する。 (思)4つの作業班ごとに必要となる力に違いがあることに気づき、自分の適性を考える。
	6・7月 校内就業体験 事前学習・事後学習 (2)	(思)校内就業体験を通して、目指す社会人の姿を想像したり、今後の課題を考えたりする。 (思)事後学習において、観点に従って自分を振り返り、次への課題を考える。 (思)様々な職種や職場環境がある中で、自分の関心と適性を照らして就業体験先を考える。 (主)自分の成長に必要な目標を設定し、校内就業体験に積極的に取り組む。
	社会人のマナー1 ・通勤や仕事での服装 ・場や季節にふさわしい服装 ・通勤時の持ち物 (4)	(知)服装や持ち物についての様々なマナーを知る。 (思)社会人としてふさわしい服装や態度、場に応じたマナーについて考える。 (思)様々なマナーがある理由について考える。 (主)身だしなみやふさわしい服装、持ち物について実践しようとする。
7・9月	職場見学 事前学習・事後学習 ・見学時のマナー ・いろいろな企業 ・仕事に必要な力 (2)	(知)会社を訪問するときのマナーや注意事項、見学の観点を理解する。 (知)様々な業種や職種の特徴や求められる力が異なることを理解する。 (思)業種や職種ごとに、仕事をするために必要な力の違いについて考える。 (主)見学を通して、自分に合う仕事や働き方、職場環境を見つけようとする。 (主)地域の企業や職業に関心を持ち、積極的に調べようとする。
	トライアル就業体験 事前学習 ・体験までの流れ (1)	(知)トライアル就業体験を実施するまでの必要な準備等を知る。

学習内容 <職業科 2学年>

月	単元名 (時数)	評価の観点
前期	4・5月 職業理解、職業観 (2)	(思) 1年次のトライアル就業体験を振り返り、自分や友達の得意な仕事、就労に向けての課題についてまとめたり意見を述べたりする。
	職場における基本的マナー (3)	(知) 職場での報告・連絡・相談の仕方、失礼のない態度や言葉遣いについて理解する。 (思) 働く上での困り事について、改善方法を他者と比較したり、話し合ったりする。
	就業体験事前学習 (1)	(知) 2年次、3年次の就業体験の流れ、意味、目的、注意事項等を理解する。 (思) 自分や友達の就業体験先での目標、業務上の留意点等について発表したり、意見を述べたりする。
	6月 ビジネスマナー講座 (外部講師) (2)	(知) 職場での報告・連絡・相談の仕方、指示を受けるときの態度や言葉遣い等について正しい行い、間違っただけで行いが分かる。 (思) 分からないことを上司に質問する場面のロールプレイングを行い、互いに意見を伝え合うことで、できている点やできていない点を考える。
	就業体験事後学習 (1)	(思) 就業体験(6月)を評価表やチェックリストで振り返り、第2回就業体験に向け、企業で働くための課題について整理する。 (主) 就業体験を振り返り、成果や課題を理解し、学校生活に生かす意欲をもつ。
	7月 職場における基本的マナー (3)	(知) 職場での休憩時間の過ごし方やトイレの使い方について理解する。
9月 職業的能力の向上 I ・輪ゴムの仕分け (3)	(知) 工程を分担して行う軽作業を通して、役割分担や協力することの大切さ、責任の意味を理解する。 (思) 全員で取り組む作業を、効率よく進めるための工夫を考える。	

	月	単元名 (時数)	評価の観点
後期	10 ・ 11 ・ 12 月	ろうどう ほうしゆう 労働と報酬 (時間と内容) せいかつ せいかつ 生活設計	(知) はたら かにや かいしゃ ぶんし じふしじふしやうしよとう じかん じかん じかんきんむ はたらひと 働き方(会社、福祉事業所等で、8時間、6時間、4時間勤務)や働く人の 生活について知る。 (知) きゅうりやう しゆく わ 給料の仕組みが分かる。 (思) きゅうりやう つか かにや かんが 給料の使い方について考える。 (2)
		しゅうぎやうたいけん ぜんがくしゅう 就業体験事前学習	(知) しゅうぎやうたいけん がつ ふ つぎ じゅうぎやうたいけん い み もくてき ちゅういじこうとう 就業体験(6月)を踏まえ、次からの就業体験の意味や目的、注意事項等 を理解する。 (主) しゅうぎやうたいけん の 目標達成に向けて意欲をもつ。 (主) しゅうぎやうたいけん い み もくてき さいにんしき しゅうりやう む いよく たか 就業体験の意味や目的を再認識し、就労に向けての意欲を高める。 (1)
		ビジネスマナー	(知) hito hanashi たいど しせい すわ かにや しせん み かにや かにや しじ 人と話をするときの態度(姿勢、座り方、視線、身のこなし方等)、指示を 受けるときの言葉遣い、好ましくない言葉や態度、注意されたときの対応の仕 方等を理解する。 (主) しんろせんたく む ひつやう じゅうほうしゅうしゅう おこな せつきよくてき ちしき え どりよく 進路選択に向けて必要な情報収集を行い、積極的に知識を得ようと努力 する。 (主) ビジネスマナー 講座を熱心に受講し、働くための知識や情報を得ようと努 める。 (3)
		しゅうぎやうたいけん じごがくしゅう 就業体験事後学習	(思) じた しゅうぎやうたいけん ふ かにや とお じぶん かにや かいだい しゅうらい しゅうぎやうせいかつ 自他の就業体験の振り返りを通して、自分の課題や将来の職業生活に ついて考えを深める。 (主) しゅうぎやうたいけん せいか かにや かにや かいだい ふ かにや がつこうせいかつ い いよく 就業体験の成果や課題を振り返り、学校生活に生かす意欲をもつ。 (1)
	1 ・ 2 ・ 3 月	しよくぎやうてきのうりよく こうじやう 職業的能力の向上Ⅱ かいじやうせつえい ・会場設営	(知) こうてい ぶんたん おこな けいさきやう とお やくわりぶんたん きやうりよく たいせつ 工程を分担して行う軽作業を通して、役割分担や協力することの大切さ、 責任の意味を理解する。 (思) ぜんいん とく さぎやう こうりつ すず くふう 全員で取り組む作業で効率よく進めるための工夫をする。 (3)
	しゅうりやうしえんきかんとう はたら 就労支援機関等の働きと 利用の仕方	(知) きゅうじんひやう みかにや りかい こやうけいたいとう じゅうほう ただ よ と 求人票の見方を理解し、雇用形態等の情報を正しく読み取る。 (知) しよくぎやうあんていじよ しやうがいしゃしゅうぎやう せいかつしえん どう やくわり し 職業安定所や障害者就業・生活支援センター等の役割を知る。 (思) しよくぎやうあんていじよ しやうがいしゃしゅうぎやう せいかつしえん どう しよざいち とくちやう 職業安定所や障害者就業・生活支援センター等の所在地や特徴をまとめ る。 (3)	
	しよくば そしき 職場の組織とそれぞれの 役割	(知) かいしゃ そしき やくわり りかい 会社の組織やそれぞれの役割について理解する。 (3)	

学習内容 <職業科 3学年>

月	単元名 (時数)	評価の観点
前期	職業理解、職業観 <small>しよくぎょうりかい しよくぎょうかん</small>	(知)就業体験や求職に関する手続き等、進路決定までの流れを知る。 (知)友達の就業体験先を基に、業種と職種の違いを理解する。 (主)会社の一員として働く心構えについて学び、権利や義務、責任感や向上心 ^{せきにんかん こうじょうしん} を自覚し、就労への意欲 ^{いよく} を高める。 (1)
	様々な働き方 <small>さまざま はたら かつ</small>	(知)正社員、パートなど、様々な雇用形態 ^{こようけいたい} があることを理解している。 (知)一般企業、特例子会社、就労継続支援事業所 ^{はたら かつ ちが} について働き方の違いを知る。 (知)月給や時間給などの形態、労働時間と報酬 ^{かんけい} の関係について理解する。 (主)自分の実態に合った働き方を主体的に考える。 (3)
	就業体験事前学習 <small>しゅうぎょうたいけんじぜんがくしゅう</small>	(知)3年時の就業体験の目的 ^{もくてき} を理解している。 (思)これまでの就業体験先での評価や自分の日誌 ^{にっし} を振り返り、就業体験への臨み方 ^{かんが} を考える。 (主)就労への意欲 ^{いよく} を高め、具体的な行動目標 ^{こうどうもくひょう} を立てる。 (1)
	求職の手続きⅠ (求人票の見方) <small>きゅうしよく てつづ せうじんひょう みかた</small>	(知)求人票に記載されている賃金、仕事内容、休日等 ^{きんぎん しごとないよう きゅうじつとう} を読み取る。 (思)数種類の求人票から興味のある条件 ^{きょうみん} について比べ、自分の希望 ^{きぼう} について考えを深める。 (1)
6・7月	就業体験事後学習 <small>しゅうぎょうたいけんじごがくしゅう</small>	(主)評価表や日誌等を振り返ることで、就業体験の成果と課題 ^{せいか かだい} が分かり、自分にふさわしい就労先 ^{しゅうろうせん} を考える。 (1)
	求職の手続きⅡ (求職登録) <small>きゅうしよく てつづ きゅうしよくとうろく</small>	(知)求職登録の意味や目的、具体的な方法 ^{きゅうしよくとうろく} が分かり、求職申し込み書の記入方法を理解する。 (思)自己理解を進め、自分に合った職種や勤務形態 ^{きんむけいたい} 等 ^{とう} を考え、求職申込書 ^{きんむけいし} に記入する。 (思)自分に関する情報を正確に丁寧 ^{せいさく ていねい} に記入する。 (3)
9月	働く人の権利 <small>はたらひと けんり</small>	(知)社会保険制度(雇用、健康、労災)や年金制度 ^{しやかいほけんせいど こやう けんこう ろうさい ねんきんせいど} のあらましを知り、働き続けるための制度や支援 ^{せいど しえん} があることを理解する。 (3)

	<p style="text-align: center;">単元名 (時数)</p>	<p style="text-align: center;">評価の観点</p>
10月	<p>きゆうしよく てつづ 求職の手続きⅢ (履歴書の作成)</p>	<p>(知)履歴書の役割や提出先、記入する項目について知る。 (思)志望の動機について学校生活を振り返りながら考え、記入例を参考に文章にまとめる。 (3)(思)名前や住所等、自分の基本的な情報を正しく履歴書に記入する。</p>
	<p>しゅうぎょうたいけんじぜんがくしゅう 就業体験事前学習</p>	<p>(思)これまでの就業体験先での評価や自分の日誌を振り返り、就業体験中の目標について考えをまとめる。 (1)(主)具体的な行動目標を立て、就労への意欲を高める。</p>
後期 11・12月	<p>しゅうぎょうたいけんじごがくしゅう 就業体験事後学習</p>	<p>(思)評価表や日誌等を振り返ることで、就業体験の成果と課題が分かり、自分に合った就労の仕方や職種を考える。 (主)就業体験を振り返り、具体的な行動目標を立て、就労への意欲を高める。</p>
	<p>しゅうろうしえん かん きかん はたら 就労支援に関する機関の働きと利用方法</p>	<p>(知)生活支援センターや障害者職業センターなど、関係機関の役割と具体的な利用方法について知り、困ったときの相談先であることを理解する。 (1)</p>
	<p>しゅうぎょうたいけんじぜんがくしゅう 就業体験事前学習</p>	<p>(思)就労への意欲を高め、就労に向けて具体的な行動目標を立てる。 (1)</p>
1・2月	<p>きゅうりょう ふくりこうせい 給料、福利厚生</p>	<p>(知)給料明細に記載してある項目の意味を理解する。 (知)雇用保険等、福利厚生について理解する。 (知)有給休暇の日数と取得の条件、休暇を取得するときの留意点を理解する。 (思)福利厚生の意味を知り、求人票から読み取ったり、自らの生活と関連付けたりする。 (主)給料の適切な利用の仕方について考えたり、意見を述べたりする。 (3)</p>
	<p>そつぎょうご せいかつせつけい 卒業後の生活設計</p>	<p>(思)教科書の事例や卒業生の様子を参考に、困ったり悩んだりしたときの適切な行動について考える。 (主)卒業後の職業生活を具体的に想像し、自分なりの将来設計を考えようとする。(給料の使い道、自分に合った働き方など) (思)卒業後や就職後の生活について目標をもち、よりよく生きようとしている。 (2)</p>